| 学校番号 | T3017 |
|---|---|

# 平成 31 年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 世界史Ａ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 改訂版 世界史Ａ　（第一学習者） | | | | | | |
| 副教材等 | 使用しない | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 歴史という時間軸を感じる。
- 歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
- 歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

## 2　学習の到達目標

- 諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
- 現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点から考察することができる。
- 世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

## 3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心を高め、意欲的に追究している。 | 近現代史を中心とする世界の歴史を、日本の歴史と関連付けて、多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 | 近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 | 近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。 |
| 評価方法 | ノート<br>作業プリント<br>出席状況 | ノート<br>作業プリント<br>定期考査 | ノート<br>作業プリント<br>定期考査 | ノート<br>作業プリント<br>定期考査 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 月 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 4・5月 | 世界史へのいざない | ・自然環境と歴史<br>・日本列島のなかの世界の歴史 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:自然環境と歴史、日本の歴史と世界の歴史のつながりにかかわる主題を意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。<br>b:主題設定した学習について、多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c:主題設定をした学習について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:主題設定した学習について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。 | ノート<br>作業プリント<br>春期考査 |
| | ユーラシアの諸文明 | ユーラシアの諸文明<br>1　東アジア世界の成立とその展開<br>2南アジア・東南アジア世界の成立と展開<br>3　オリエント世界の統一イスラーム世界の成立と形成、 イスラーム帝国の分裂と多様<br>4　地中海世界の形成と展開<br>5　キリスト教の成立と発展<br>6　ヨーロッパ世界の形成と展開、<br>7 西ヨーロッパの膨張と危機 | ○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○ | a:ユーラシアを中心に形成された四つの地域世界それぞれの自然環境、生活、宗教などの特質に対する関心を高め、意欲的に追究している。<br>b:ユーラシアを中心に形成された四つの地域世界それぞれの自然環境、生活、宗教などに特質を見いだし、今日の世界諸地域における社会・文化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c:ユーラシアを中心に形成された四つの地域世界それぞれの自然環境、生活、宗教などの特質に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:ユーラシアを中心に形成された四つの地域世界それぞれの自然環境、生活、宗教などの特質についての基本的な事柄を今日の世界諸地域における社会・文化と関連付けて理解し、その知識を身につけている。 | |
| 6・7月 | 一体化する世界と日本 | 結びつく世界と近世の埜本<br>8　清と東アジア<br>9　オスマントルコ帝国とｻﾌｧﾋﾞｰ朝<br>10 ヨーロッパの大航海時代 | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ | a:大航海時代のヨーロッパ人の海外進出と、アジア諸帝国の政治と社会、ヨーロッパの主権国家体制成立と大西洋貿易の動向などの特質に対する関心を高め、意欲的に追究している。<br>b:大航海時代のヨーロッパ人の海外進出と、アジア諸帝国の政治と社会、ヨーロ | ノート<br>作業プリント<br>夏期考査 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 11 ルネサンスと宗教改革<br>12 ヨーロッパ主権国家体制の成立<br>13 17～18 世紀のヨーロッパ<br>14 世界商業の展開<br>15 科学革命と啓蒙思想 | ○<br>○ | <br>○<br>○<br>○<br>○ | <br><br><br>○<br>○ | ○<br>○<br><br>○ | ッパの主権国家体制成立に特質を見いだし、世界商業の進展と大西洋貿易の動向などと関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c:大航海時代のヨーロッパ人の海外進出と、アジア諸帝国の政治と社会、ヨーロッパの主権国家体制成立、大西洋貿易の動向などの特質に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:大航海時代のヨーロッパ人の海外進出と、アジア諸帝国の政治と社会、ヨーロッパの主権国家体制成立などについての基本的な事柄を、世界商業の進展と大西洋貿易の動向などと関連付けて理解し、その知識を身につけている。 | |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 8・9・10月 | | ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成<br>16 産業革命<br>17 労働運動と社会主義の始まり<br>18 アメリカ独立革命<br>19 フランス革命<br>20 イギリスに挑戦したナポレオン<br>21 大西洋をはさんだ革命<br>22 ウィーン体制<br>23 イギリスの繁栄<br>24 二月革命と第二帝政<br>25 イタリアとドイツの統一<br>26 ロシアの近代化と場ルカ半島<br>27 アメリカ合衆国の膨張<br>28 世界市場の形成<br>29 オスマントルコの衰退と西アジア<br>30 南アジアの植民地化とインド帝国<br>31 東南アジアの植民地化<br>32 清の動揺<br>33 明治維新と東アジア<br>34 中国分割の危機と日本<br>35 アジア諸国の変革 | ○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○ | a:18 世紀後期以降の西ヨーロッパとアメリカの諸革命と産業社会の成立、アジア諸国の内部で進行していた変化と、ヨーロッパの進出による諸地域の変貌の特質に対する関心を高め、意欲的に追究している。<br>b:18 世紀後期以降の西ヨーロッパとアメリカの諸革命と産業社会の成立、アジア諸国の内部で進行していた変化、ヨーロッパの進出による諸地域の変貌に特質を見いだし、19 世紀の世界の一体化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c:18 世紀後期以降の西ヨーロッパとアメリカの諸革命と産業社会の成立、アジア諸国の内部で進行していた変化、ヨーロッパの進出による諸地域の変貌などの特質に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:18 世紀後期以降の西ヨーロッパとアメリカの諸革命と産業社会の成立、アジア諸国の内部で進行していた変化、ヨーロッパの進出による諸地域の変貌などの特質についての基本的な事柄を 19 世紀の世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を身につけている。 | ノート<br>作業プリント<br>秋期考査 |
| | 地球社会と | 地球社会と日本<br>36 帝国主義の時代<br>37 列強の世界政策 | <br>○<br>○ | | | <br>○<br>○ | a:19 世紀末から20 世紀初頭に欧米諸国や日本などに見られた社会の急激な変化と20 世紀という時代の特質などに対する関心を高 | |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 11・12月 | | 38 アジア太平洋地域の分割とロシア<br>39 大衆の登場と国民統合<br>41 第一次世界大戦と<br>42 ロシア革命と大戦の終結<br>43 ヴェルサイユ・ワシントン体制<br>44 アメリカとヨーロッパ<br>45 東アジアの民族運動<br>46 アジアの独立運動とラテンアメリカ<br>47 世界恐慌<br>48 ファシズムの台頭<br>49 日本の軍国主義と中国<br>50 第二次世界大戦の勃発<br>51 第二次世界大戦の終結 | ○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○ | め、意欲的に追究している。<br>また、第一次世界大戦と第二次世界大戦の原因や総力戦としての性格、それらが及ぼした影響と平和の意義などに対する関心を高め、意欲的に追究している。<br>b:20世紀という時代に19世紀までとは性格の異なる人類史的特質を見いだし、社会の急激な変化の具体的な様相と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c:20 世紀という時代の人類史的特質、および第一次世界大戦と第二次世界大戦の原因や総力戦としての性格、両大戦の影響と平和の意義などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。<br>d:20 世紀という時代の人類史的特質についての基本的な事柄を、社会の急激な変化の具体的な様相と関連付けて理解し、その知識を身につけている。<br>また、第一次世界大戦と第二次世界大戦の原因や総力戦としての性格についての基本的な事柄を、両大戦の影響と平和の意義などと関連付けて理解し、その知識を身につけている。 | ノート<br>作業プリント<br>冬期考査 |
| 1・2月 | | 第二次世界大戦後の世界<br>52 戦後世界の出発<br>53 戦後のアジア<br>54 アジア諸国の独立<br>55 戦後の西アジア・アフリカ<br>56 第三勢力の台頭とラテンアメリカ<br>57 変容する冷戦<br>58 冷戦の終結と社会主義の変容<br>57 冷戦後の世界<br>58 21 世紀の世界 | ○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○ | ○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○<br>○ | a:第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立、核兵器問題などの特質に対する関心を高め、意欲的に追究している。<br>b:第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立、核兵器問題などに特質を見いだし、世界の政治・経済の動向と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c:第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立、核兵器問題などの特質に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 | ノート<br>プリント<br>学年末考査 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | d:第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立、核兵器問題などの特質についての基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身につけている。 | |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について〇を付けている。